風紀・制服に関する規定

１．服装等について

服装は、夏服・冬服の着用期間を設定しない。一年を通じて天候や体調等によって、夏服・冬服のいずれを着用してもよい。ただし、儀式的行事や写真撮影など、特に必要な場合は指定することがある。

（１）冬服

・上衣、ズボン（スラックス)、スカートはいずれも学校指定のものを着用する。

・規定の校章入り長袖ブラウスは指定店で購入し、加工しないこと。また、長袖ブラウスには黒のボウタイを着用する。

・長袖シャツは学校指定のものはないため､必要に応じて各自で準備する｡ただし、長袖シャツについては次の規定を守ること。

①白の無地のみ（裏地も同様）

②襟はレギュラーカッター（ボタンダウン等は不可）

③ボタンの色は白または半透明

④襟の内側やボタンホール等に色がついたものは不可

⑤裾はズボンの中に入れることができる長さのもの

（２）夏服

・上衣、ズボン（スラックス)、スカートはいずれも学校指定のものを着用する。

・規定の校章入り半袖シャツ（半袖ブラウスには黒のボウタイを着用）は指定店で購入し、加工しないこと

※ズボンの場合はベルト着用。ベルトについては、色は黒・紺・茶で、柄物やエナメル質のものは禁止。また、大きなバックル、サスペンダー等は不可。

※スカートの場合は、ひざが隠れるように着用する。

※上衣の袖口を曲げないこと

※ベスト、セーターは学校指定のものを着用する。

◎上下の組み合わせについては、次のⅠ型～Ⅲ型のいずれかとする。

Ⅰ型（旧男子型）

上：学ラン、規定の校章入り半袖シャツ、長袖シャツ、セーター、ベスト

下：ズボン

Ⅱ型（旧女子スカート型）

上：ブレザー、規定の校章入りブラウス、ボウタイ、セーター、ベスト

下：スカート

Ⅲ型（旧女子スラックス型）

上：ブレザー、規定の校章入りブラウス、ボウタイ、セーター、ベスト

下：スラックス

（３）防寒着等

ア　防寒着【冬服の上衣（制服）を着用した上で使用】

・ダッフルコート、P コート、ウインドブレーカー、ダウンジャケット系等のもの

・色は黒、紺、グレー、白の単色で、小さく入ったメーカーのマークやロゴは可（ファー、装飾品の付いているものは不可)。

イ　マフラー

・華美でないもので、ラメ入り、レース、ストール、装飾品が付いたものは不可

・制服のボタンはすべて留めること

ウ　ネックウォーマー

・表裏ともに華美でないもの。ただし、小さく入ったメーカーのマークやロゴは可。

・制服のボタンはすべて留めること

エ　ストッキング・タイツ

・色はベージュまたは黒。また、柄物やワンポイント等があるものは不可

（４）その他

ア　靴

・華美でないもの。スリッパ、サンダル、ブーツ、ハイヒール、厚底、装飾品（ファー等）がついたもの等は不可

・雨天時の雨靴、レインコートは華美でないもの

※TPO［Time（時間)、Place（場所)、Occasion（場合)］に応じた靴を着用

※公的な行事や面接試験等では、フォーマル用の靴（コインローファー等）を推奨

イ　靴下は白または黒でワンポイントまで（くるぶしが見えるものは不可）

ウ　ピアス、イヤリング、ネックレス、指輪等のアクセサリー類や化粧、マニキュア等は禁止

エ　校舎内外での上履きと下足の使い分けを徹底。なお、体育館と講堂では体育館シューズを使用

オ　学校指定のカバンを使用し、荷物の多い場合は補助バックまたは部活動において許可されたバックを使用

２．頭髪について

学業に支障が出ないこと、且つ、進学・就職試験を受験する際に相応しい状態であることを前提とし、高校生として清潔感のある身だしなみを生徒自らが主体的に判断するための基準として、以下のとおりとする。

（１）前髪：前髪が目にかかる場合は散髪するか、ピンで留めることで相手から表情や目線が見えるように整えること。

（２）横髪：肩につく程度の長さの場合、清潔感を保つために後髪と一緒に結ぶこと。

（３）後髪：肩につく程度の長さの場合、結ぶこと。原則、正面から見えない位置でまとめること。

（４）髪型：ワックス・パーマ・カール・メッシュ・脱染色・つけ毛・エクステなど、特別な費用や道具を使う髪型は認めない。髪型全体で長さが極端に違う状態にならないよう、清潔感を保つ。ドライヤーなどの使用により、髪に負担がかかり変色することがないよう十分注意すること。

（５）ゴム・ピン：華美でなく、装飾のないものを使用すること。ゴムは黒・紺・茶、ピンは黒のアメピンに限る。

※ただし、個別の事情により規定の遵守が難しい場合は生徒指導部に相談すること。